

伊藤整 70年のノーベル賞候補

【ストックホルム共同】1970年のノーベル文学賞の選考で、「生きてゐる兵隊」「蒼氓」で知られる作家の石川達三と、「変容」「氾濫」の伊藤整（渡島管内松前町生まれ、小樽市出身）の日本人2人が候補に推薦されていたことが10日、分かった。選考主体のスウェーデン・アカデミーが共同通信に当時の選考資料を開示した。2人が同賞候補に挙がっていたことが公式資料で判明するのは初めて。

ペンクラブから推薦

文学賞公式資料で判明

70年の文学賞候補は、2人をどで、旧ソ連・スターリン体制含み76人。選考委員会側は石川下の強制収容所生活の実態や民衆への抑圧を暴いたロシアの作家アレクサンドル・ソルジェニーツィン氏。

70年の文学賞候補は、2人をどで、旧ソ連・スターリン体制含み76人。選考委員会側は石川下の強制収容所生活の実態や民衆への抑圧を暴いたロシアの作家アレクサンドル・ソルジェニーツィン氏。

70年に受賞したのは、「イワン・デニーソヴィチの一日」な



伊藤整

文学賞の候補は、過去の受賞者や各国の作家協会代表らの推薦を受け、アカデミーが審査し決める。候補者名や選考過程は50年間非公開となっている。70年分は新型コロナウイルスの感染流行の影響で例年よりも開示が遅れた。